

 ななじゅ URL http://www.nakago-e.jorne.ed.jp/	『かしこい子、 やさしい子、 がんばる子』 上越市中郷区二本木704番地 TEL: 0255-74-2010 FAX: 0255-74-2482
--	--

❖2学期のスタートに感謝！そして、実りの秋へ！！

新型コロナウイルス感染症第7波の急速な感染拡大により、2学期のスタートについて心配しておりましたが、8月26日に始業式を行うことができました。家族や地域の皆様には、様々な角度から子どもたちを見守っていただき、大変ありがとうございました。

2学期も、感染拡大防止対策を講じた学校生活が継続されます。このようなコロナ禍でも、でき得る限りの工夫をして学習や学校行事等の充実を図っていきたいと思います。特に、2学期は、中郷小学校ならではのクロスカントリー走記録会や学習発表会等が計画されています。子どもたち一人一人が、自分や学級の目標を明確にして取り組み、自身や学級の力が向上するなかで、自己有用感を高めることができるように、職員一丸となって支援、指導してまいります。

保護者や家族、地域の皆様には、中郷小学校の教育活動に対しまして、ますますのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。
(校長 饒村 泰世)



『自己有用感を高める』を合言葉に！

❖1学期 学校評価（保護者・児童アンケート）より

1学期末に保護者の皆様から、中郷小学校の今年度の重点テーマ『自己有用感を高める ～かかわりあう力 ささえあう力 みとめあう力～』と重点的な取組『確かな学力の育成（理解し、活用する）』『豊かな心の育成（思いやる・集団づくり）』『健やかな体の育成（自立自律）』について、アンケートにご協力いただきました。ありがとうございました。児童のアンケートとともに、その結果についてお知らせいたします。

学校では、アンケート結果をもとに、1学期の教育活動の成果と課題、2学期の主な取組や改善策について、全職員で検討しました。また、小・中学校職員でも、それぞれのアンケート結果を共有し、児童・生徒の自己有用感を高めるための連携について話し合いました。

これからも『自他を大切に し なかごうを愛する子』の育成を目指し、確かな実践を積み重ねてまいります。

※結果は、児童、保護者の回答を以下のようにとらえ、考察しています。

肯定的評価・・・よくあてはまる、ややあてはまる の回答を合わせたもの

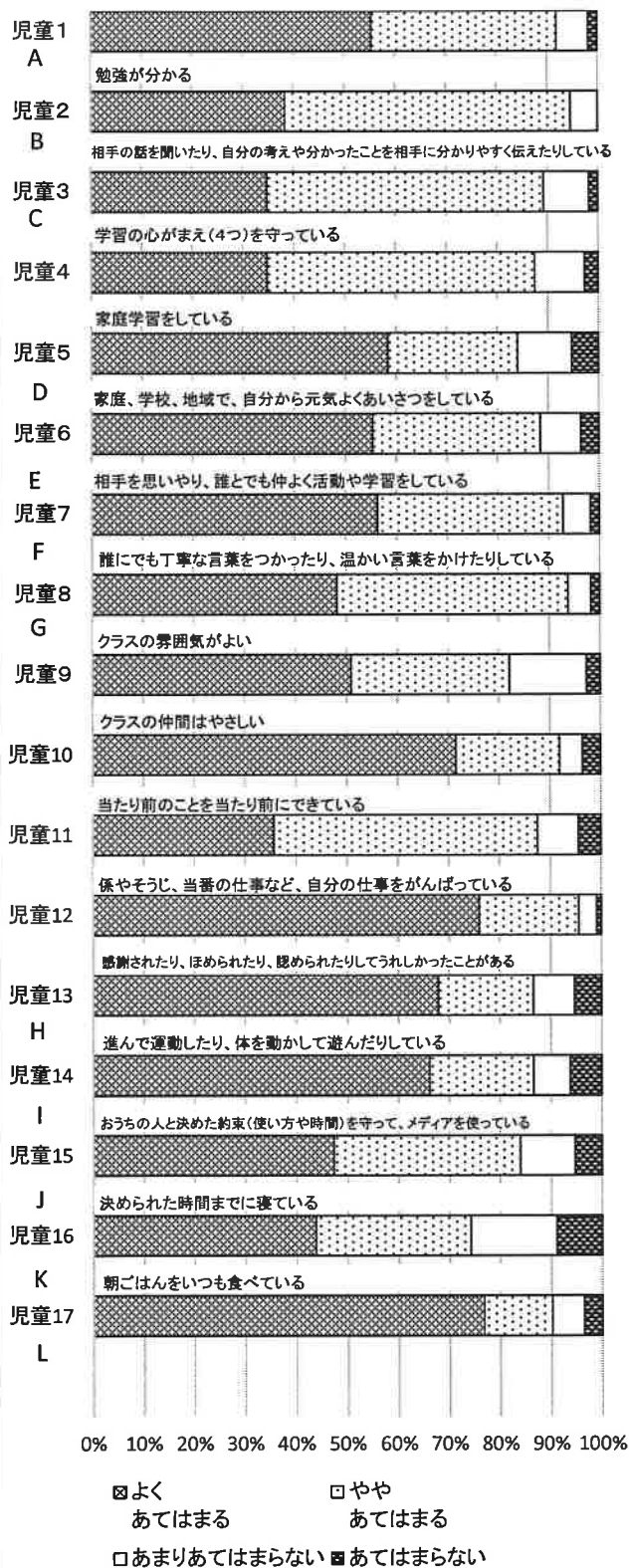
否定的評価・・・あまりあてはまらない、あてはまらない の回答を合わせたもの

アンケートの結果、「学校は楽しい」と感じている児童と、「お子さんは学校生活を楽しいと感じている」と捉えてくださっている保護者の割合が高く、とてもありがたいと思っています。また、児童の「感謝されたり、ほめられたり、認められたりしてうれしかったことがある」、保護者の「お子さんは、感謝されたり、ほめられたり、認められたりすることで、自己有用感が高まっている」の肯定的評価の割合が高く、学校と家庭との連携により、児童の力を高めつつあることを嬉しく思います。

今後も魅力ある教育活動を推進するとともに、否定的評価についてもしっかりと受け止め、一人一人の子どもを大切にされた教育活動の充実に努めていきます。

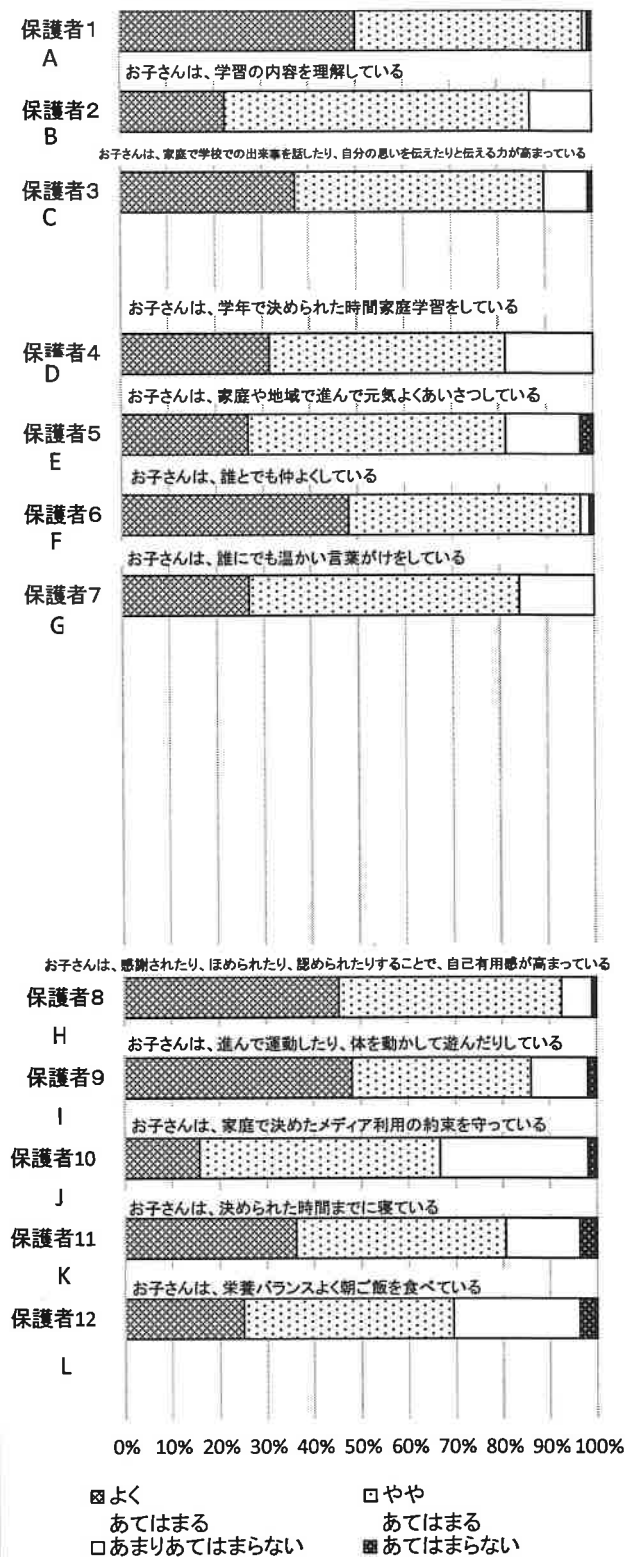
児童アンケート集計結果(全校)

学校は楽しい



保護者アンケート集計結果

お子さんは、学校生活が楽しいと感じている



『確かな学力の育成』について～学力プロジェクトから～

1 基礎的、基本的な知識・技能について ○児童2、5 保護者2、4のアンケート結果より

◎成果

・学習内容が身に付いていると実感している子どもの割合が高いです。今後も子ども一人一人を大切に、よりよい授業づくりを進めるとともに、家庭学習が充実するよう取り組んでいきます。

▲課題と2学期の主な取組や改善策

・今年度の重点である「伝えること」「聞くこと」を意識し、学年に応じた指導の工夫を取り入れ、授業づくりを進めます。家庭学習では、宿題に加え自主学習にも力を入れ、自分から学習に取り組もうとする意欲を高めていきます。家庭における励ましの声掛けを今後もお願いいたします。

2 相手の話を聞いたり、考えや分かったことを相手に分かりやすく伝えたりする力について

○児童3、保護者3のアンケート結果より

◎成果

・児童、保護者ともに肯定的評価が高くなっています。今年度は昨年度の「伝えること」に加えて、「相手の話を聞くこと」にも力を入れて指導を進めています。ご家庭においても、家族の会話を大切にしながら、お子さんとかかわっていただいていることがうかがえます。

▲課題と2学期の主な取組や改善策

・文章表現が難しいと感じている子どもが多くいます。授業や活動における振り返りを書く時間を確保し、自己の学びや気持ちを表現する力を高めていきます。

『豊かな心の育成』について～思いやり・社会性育成プロジェクトから～

1 仲間を大切にし、尊重する心について ○児童6～12 保護者5～7のアンケート結果より

◎成果

・どの項目においても、児童、保護者共に肯定的評価が80%以上となっています。子どもたちが仲間とのかかわりを大切にしながら、学校生活を送っていることがうかがえます。

▲課題と2学期の主な取組や改善策

・あいさつについては個人差があり、課題ととらえています。あいさつができる子どもを育ていけるように、各学級で指導したり、あいさつ運動などの活動を工夫して取り組んだりしていきます。

2 自己有用感について ○児童13 保護者8のアンケート結果より

◎成果

・児童は80%以上、保護者は90%以上と肯定的評価の割合が高いです。テーマである「自己有用感を高める」子どもの育成に向けて、昨年度から学校、家庭、地域が連携した取組を継続してきたことが、成果となって表れているととらえます。学校で取り組んでいるあったかメッセージは、自己有用感の高まりにつながっています。

▲課題と2学期の主な取組や改善策

・児童が主体となる活動を通して、他者との関係の中で自分の存在価値を受け止める感覚がより高まるようにしていきます。



『健やかな体の育成』について～健康体力プロジェクトから

1 自己コントロール能力 ○児童15～17 保護者10～12のアンケート結果より

◎成果

・チャレンジウィークについて、中学校と時期を合わせたり、項目を月ごとに見直して取り組んだり、やり方を一部変更しました。ご家庭の皆様からご協力をいただき取り組むことができました。ありがとうございました。継続することで、より意識を高めていきたいと思っています。

▲課題と2学期の主な取組や改善策

・メディア利用と就寝時刻について課題であるととらえています。子どもたちが自分からコントロールできるようになることを目指し、学校での働きかけを継続していきます。ご家庭の協力あつての自己コントロール能力の育成です。連携して取り組んでいければと思います。

2 基礎体力について ○児童14 保護者9のアンケート結果より

◎成果

・児童、保護者共に肯定的評価が高くなっています。学校においても休み時間など体を動かして遊んでいる子どもが多く見られます。

▲課題と2学期の主な取組や改善策

・新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら、体育授業、チャレンジランニングの実施の工夫や児童会からの働きかけなど、子どもたちが自分から運動に取り組もうとする姿を目指していきます。

保護者の皆さまのご意見について

貴重なご意見をありがとうございました。今後も「自己有用感を高める」のテーマのもと、地域に根ざした教育活動を展開してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

【保護者の皆様から】

・いつもありがとうございます。低学年なのでまだまだ、声掛けや支援が必要な事が多々あると思います。後期もよろしくお願いします。
・いつもご指導ありがとうございます。

・いつもありがとうございます。高学年の自覚が足りない児童が多いように感じます。後期は礼儀や社会性が更に身に付くよう学校、家庭、地域でサポートし頑張ってください。今後とも宜しくお願いします。

・iPadの家庭での利用について、まだ低学年ということもあるかと思うのですが、自宅でも使用できるように持ち帰り等出来ないのでしょうか？既に貸し与えられてから1年以上経過しますが、デバイス活用の可能性を持て余しているように感じます(今年になって1度しか使っていないと聞きました)。今の端末は何十年も持つ代物ではないですし、毎日使用するくらいの活用をすべきだなと、率直な思いです。自宅で、私のパソコンを使ってタイピングの練習をしています。そう言った学習に活用出来たら嬉しいですね。ご検討お願い致します。

・毎日宿題のドリルを頑張っていますが、クラスで何もしてこないひとがいるようで、モチベーションが下がるし、納得いかないようです。

・クラブ活動が始まり とても楽しみにしていたが、希望する所に入らず、がっかりしていた。人数も少ないのに希望するクラブに入れないのはどうしてか？疑問に思う。

【ご意見を受けて】

今後も全校の子どもたちが楽しく活動していけるように尽力していきます。

保護者の皆様、地域の皆様と共に子どもたちを育てていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

iPadの活用については、ご協力をいただきありがとうございます。学校でも活用を進めていますが、発達段階に応じて使用頻度に差があるのは事実です。さらに授業での活用や持ち帰りを進めていきたいと考えます。

宿題に取り組むことの意義を再度確認し、一人一人の子どもたちが、自分から課題に取り組めるように指導していきます。

子どものクラブ希望調査では、第3希望まで選んでもらっています。人数に大きく偏りが出るときには、第3希望までの中で所属決定することを事前に子どもたちに話しています。その他の事情があるときは、子どもたちと話し合って決定しています。

【保護者の皆様から】

・プールでの水中メガネについて当日に、禁止を指導されました。昨年度は使用していましたが、今年度は突然ダメだと言われたこと(そのため当該日は装着できず)。目のアレルギーがあるため持たせています。保護者への事前通告もしない、児童に対する配慮がない指導方法は、一体何を狙っているのでしょうか。

・熱中症対策:午前中に校外学習があった日の昼休みに遊んでいたところ熱中症で保健室に行くと、息子より聞かれました。熱中症になった際、救急搬送するしないの判断基準を教えてください。WBGT値で活動内容や熱中症対策を決めているとは思いますが、低学年はより慎重な対応/判断が必要であり、児童に対しては注意や見守りではなく監視が必要であると思いますが、熱中症対策に関する学校の考えをお聞かせ下さい。また、7月21日に徒歩を伴う校外学習(水族館)があり、水族館では班別で行動すると息子より聞いていますが、児童の監視体制は問題ないのでしょうか。校外学習で熱中症になるケースが多く報告されているなか、そのような時期に当該の校外学習を行う理由は何でしょうか。

・今月からチャレンジウィークの方法が変わったが、以前の方が良かった。ファミリー読書も子供たちが本を読んで感想を書いたものを親が見ればいいのか？ここ数年で感じるの親が最後にコメントを書く場面が多いということです。ファミリー読書ですが、感想やイラストは子どもだけではいけないのでしょうか？学級で発表があったりすることで十分かと思うのですが、親子間の関わりが大切なのは分かりますが、あまりに頻回だと同じようなコメントになってしまい効果はあるのか疑問を感じてしまいますね。

・2018年に文科省が発出した「児童生徒の携行品に係る配慮についての事務連絡」では、いわゆる「置き勉」を文科省が正式に認めています。児童の携行品が非常に多い中、ともに舗装もされていない坂道も多い通学路を重いランドセル背負って歩かせることは、異常な状況と言わざるを得ません。中郷小学校において「置き勉」を認めない理由は何でしょうか。

・天気の変化に対応するため置き傘をさせていましたが、持ち帰るよう指導されました。指導された当日は、激しい雨が降り傘を差しながら別の傘を持ち帰るため、小さな児童にとっては危険な状態でありました。置き傘ができない理由を息子に尋ねても、先生にダメだと言われたの一辺倒。「置き傘」を認めない理由は何でしょうか。

・行事などの連絡事項が遅い事が多いです。不備も多々あります。宿題や活動の説明を理解していない子供たちがいる。学校全体で保護者からの意見を共有して学校生活にいかしてほしい。

・我が家は特にないが毎回思うがこのアンケートは氏名を書くことで子どもへの対応が心配になり本当に書きたいことが書けない人がいると思う。

・教職員間について:教職員間の風通しは問題ないのでしょうか。年長の教師に気を使う職場になっていませんか。少なくとも保護者としては、担任が他教師に遠慮しているようにみえます。経験の浅い教師へのフォローはどのようなことをされているのでしょうか。

【ご意見を受けて】

水泳学習の目的の一つである命を守るという視点についても考慮し、持ち物の連絡には水中メガネを記載してありません。しかし、水中メガネの使用を禁止しているわけではなく、ご家庭からの連絡に応じて着用しておりました。昨年度と同じ対応ですが、連絡が不十分であったところがありました。来年度以降、気を付けてまいります。水泳前の健康調査票に水中メガネの使用等について、記載することが分かりやすくなるようにします。

熱中症警戒アラートが出ているときは休み時間の外遊び等を禁止したり、校内放送で注意を呼び掛けたりしています。暑さで具合が悪くなった子どもは保健室で休息し、体温、酸素飽和度等の測定によって健康観察を行っています。校外学習は子どもにとって貴重な学習の機会ととらえます。行先には適した時期等があり、それらを考慮して計画しています。関係先との打ち合わせ、下見、引率体制など入念に準備を進めていますが、子どもの安全に大きな影響が考えられる場合は、延期や中止とします。今後も熱中症だけでなく、子どもの安全・安心に全力を尽くします。

ご多用の中、日ごろから教育活動にご協力をいただき本当にありがとうございます。学校だけでなく、保護者の皆様からの励ましが、小学生の子どもたちにとって大きな効果があると考えています。今後は、場面に応じた必要性をより吟味しながら、ご協力をお願いしていきたいと思っています。

中郷小学校では、国語、算数以外の教科書、資料集などは学校に「置き勉」しており、毎日、毎回の持ち帰りはしていません。国語、算数については、宿題が出る事が多かったり、予習、復習等を行ったりすることができるよう持ち帰っています。家庭での自主的な学習の充実につなげることができればと考えています。

学校には、貸し出し用の傘が準備されています。急な天候の変化があった場合、必要に応じて貸し出しています。傘だけでなく、児童が物を持ち帰る場合には、天候等を配慮していきます。

ご心配をおかけして申し訳ありません。早い連絡を心がけていますが、日程調整等で遅れることもあります。緊急な内容については連絡帳等でもお知らせいたしますので、ご確認いただけるとありがたいです。

記名によるアンケートへのご回答ありがとうございます。昨年度もあったのですが、記名いただくことで、お子さんの様子が心配な保護者の方に対して個別で相談に応じたいけることもよさの一つであると考えます。ご理解とご協力をお願いいたします。

教師間の報告、連絡、相談を密に取りながら教育活動や生徒指導等に当たっています。今後も、子どものことに重きを置きながら、全職員で取り組んで参ります。ご心配いただき、ありがとうございました。

8・9月の行事予定

*感染症などの状況により変更になる可能性があります。

- 29日(月) 給食開始
 全校SSE(1限)
 発育測定(上学年)
 教育実習(～9月16日)
 第2回漢字検定申し込み切り

- 30日(火) 発育測定(下学年)
 5・6年:小川未明文学館学校お話会(5限)
 クラブ活動③

- 31日(水) 課外活動開始

【9月】

- 1日(木) スクールカウンセラー来校(午前)
 ALT来校
 学習情報指導員来校
- 2日(金) 学校司書来校
- 6日(火) 5年校外学習:稲の観察
 委員会活動⑥
- 7日(水) 第2回避難訓練
 学習情報指導員来校(午前)
- 8日(木) 学習参観(同和教育)下学年:5限 上学年:6限
 第2回さとまる学園コミュニティスクール委員会(学習参観・協議会)
 ALT来校
- 9日(金) クロスカントリー走記録会前の健康診断
 チャレンジウィーク(～15日)
 学校訪問カウンセラー来校(午後)
- 12日(月) 市教育委員会学習改善要請訪問(公開授業6年)
- 13日(火) クラブ活動④
- 14日(水) 第2回Web配信問題実施(4～6年)
 市教育委員会算数科学力向上支援訪問(公開授業1・2年)
- 15日(木) 歯科検診
 スクールカウンセラー来校(午前)
 ALT来校
- 16日(金) 3年校外学習:社会科スーパーマーケット見学
 学習情報指導員来校(午後)
- 20日(火) 学校司書来校
- 21日(水) ～22日(木)
 5年生:自然教室
- 22日(木) ALT来校
 学習情報指導員来校(午後)
- 27日(火) クラブ活動⑤
- 28日(水) 上越市児童生徒科学研究発表会
 4年校外学習:縄文資料館
- 29日(木) 知能検査(1・3・5年)
 ALT来校
 学習情報指導員来校(午前)
- 30日(金) 児童会代表委員会②
 学校訪問カウンセラー来校(午後)



スクールカウンセラーの鳥居佑希さんの2
 学期来校予定日(午前)

9月1日、15日 10月6日、27日

11月10日、24日 12月15日

学校訪問カウンセラーの富永清文さんの
 2学期来校予定日(午後)

9月9日、30日 10月14日、28日

11月11日、25日 12月9日

児童だけでなく、保護者も相談することができます。学校の相談受付窓口は、水科教諭または二上教頭です。